

2 農業・林業・水産業

(1) 農業

福島県では、それぞれの地域の自然条件を生かしていろいろな農産物が生産されています。

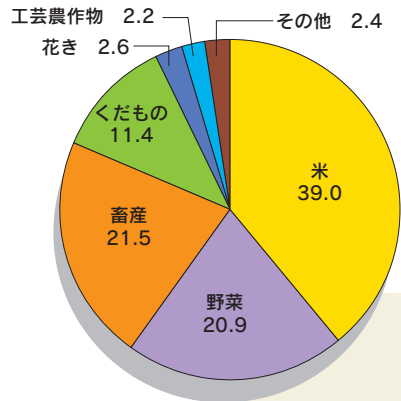
2006年(平成18年)の農業の産出額は、2,500億円で全国第12位となっています。そのうち、^{こめ}米が全体の約4割を^し占めています。

また、野菜やくだものなど全国的にみても生産量の多い農産物がたくさんあります。

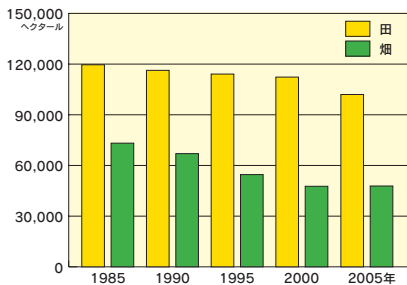
福島県内の耕地面積は、田、畑とも年々減ってきています。

農家の数も、年々減ってきていて、また主業農家は農家全体の2割未満となっています。

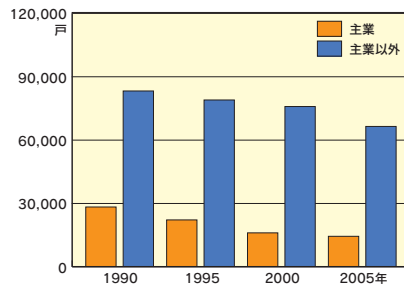
●農業産出額の割合(2006年)



●耕地面積のうつきかわり

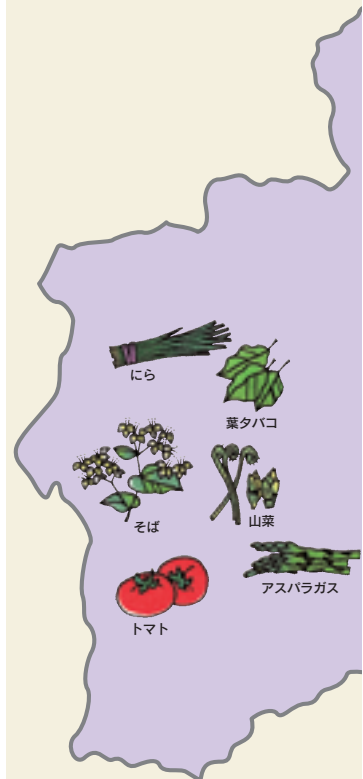


●農家数のうつきかわり

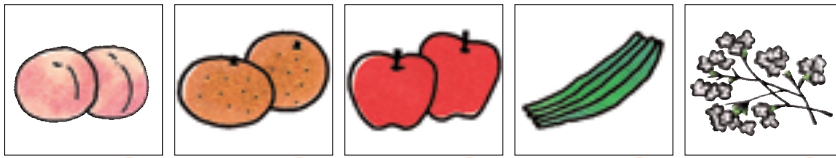


主業農家：主に農業により生活を営んでいる農家

主業農家以外の農家：主に農業以外の仕事により生活を営んでいる農家



●農産物生産量の全国ランキング（2006年）



もも 全国2位 なし 全国4位 りんご全国6位 さやいんげん全国2位 かすみそう全国3位



きゅうり全国3位 米 全国4位 トマト全国7位 こんやくいも全国5位 まゆ 全国2位 そば 全国4位

みんなのまわり
ではどんなものが
生産されている
のかな？



●県内のおもな農林水産物の生産地



〈米〉

福島県では、「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」といった品種を中心に、約8万2,600ヘクタールの水田で稲が栽培されています。

2007年(平成19年)に県内でつくられた米の量は全国で4番目の約44万5,200トンで、福島県は主要な米の生産県しゅようとなっています。

また、福島県では、化学農薬や化学肥料の使用を減らした環境にやさしい米づくりや、苗を作らず、種を直接田にまくちよくは直播栽培による労力と費用のかからない米づくりに取り組んでいます。



高性能播種機ほしゆによる直播栽培ちよくは(郡山市)
(注)直播栽培=稲のたねを直接水田にまき、田植えをしないで米をつくる方法



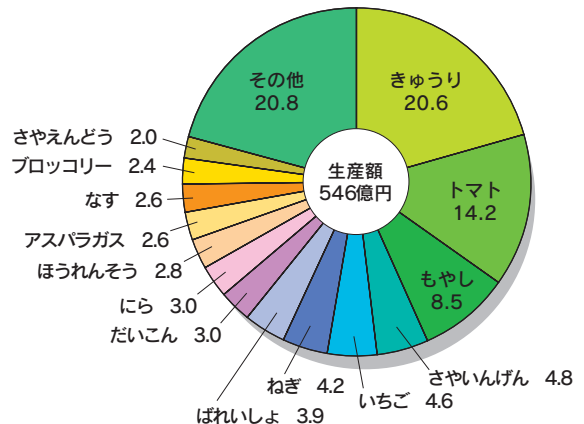
大型コンバインによる収穫しゆうかく(喜多方市)

〈野菜〉

福島県では、たくさんの種類の野菜が生産されています。

とくに、夏から秋にかけて生産されるきゅうりやトマト、さやいんげんは全国的にも有名です。

●野菜産出額の割合(2006年)





きゅうりの収穫（須賀川市）



トマトの収穫（南会津町）

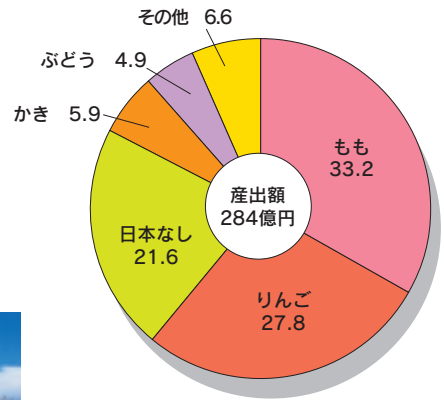
〈くだもの〉

ぼんち

福島盆地を中心に、もも、りんごなどが栽培されています。とくに、ももは「あかつき」などの品種が栽培されており、生産量は全国第2位となっています。

●くだもの産出額の割合

（2006年）



ももの収穫（伊達市）



りんごの収穫（福島市）

福島県では、もも、りんご、ぶどう、なしなどのおいしくて、しかも県内での栽培に適した新品種づくりにも力を入れています。



ぶどう新品種「あづましずく」
大粒の種なしぶどうとしては、いまままでより早い、8月上旬に収穫できる新品種。



もも新品種「ふくあかね」
濃厚な食味で「あかつき」の後の8月中旬に収穫できる新品種。



なし新品種「涼豊」
果汁が多く、甘味が強い。9月下旬～10月上旬に収穫できる新品種。



りんご新品種「緋のあづま」
甘味と酸味のバランスがよく9月下旬～10月上旬に収穫できる新品種。

か 〈花 き〉

きく、^{しゅっこん}宿根 かすみそう、トルコギキョウなどの切花や、シクラメンやポインセチアなどの鉢物などを中心に栽培されており、生産額は東北第2位となっています。



宿根かすみそうの収穫（昭和村）



シクラメンの出荷準備（いわき市）

(注) 花き=かんしょうするためにさいばいする植物

ちく さん 〈畜 産〉

中通りや浜通りを中心に、肉用牛や乳用牛、ぶた、にわとりなどの家畜が飼われています。畜産は、農業産出額の5分の1を占め、安全でおいしい肉や卵、牛乳などを生産しています。

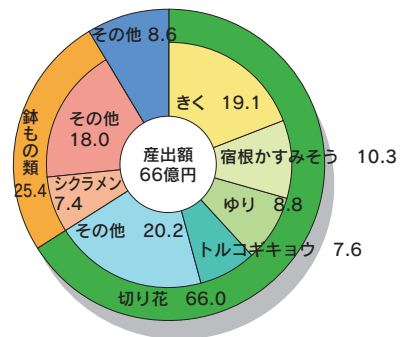


乳用牛の放牧（飯舘村）



福島牛（肉用牛）

●花き産出額の割合（2006年）



●畜産物産出額の割合（2006年）

